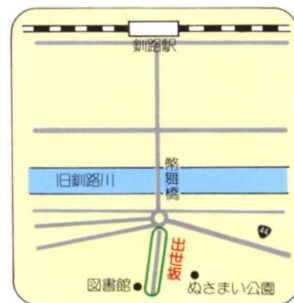


市民参加の「出世坂修景改装懇話会」が構想づくり。心にうるおいを与え、機動性に富み、景観、美観に心を配った市民の憩い語らう並木道。幣舞橋や花時計の伴う景観の中にあり、地域の風土をかもし出した釧路市のシンボリック的存在。



釧路市は、小説「挽歌」以来、霧が有名になった、道内有数の港湾都市である。街の背後にひらける広大な釧路湿原は、湿原植物の宝庫として、また丹頂ヅルの生息地として名高い。

出世坂は、釧路のメイン通りにある幣舞橋を渡った丘陵地にある。かつて坂の上に旧制釧路中学があり、青年の大志と向学心、活躍を期待して「出世坂」と呼ばれるようになった。

この坂の改修に当たっては、「出世坂修景改装懇話会」が設立され、広く



市民の意見が取り入れられた。

大正時代の石垣と七一本のヤチダモの並木は保存することとし、舗装は歴史と重厚さにマッチさせるとともに、歩行性・耐久性も考えて御影石とし、ロードヒーティングも施した。また、坂の途中にポケットスペースを設け、市民が憩い集える空間を設けた。さらに、手ざわりを考え、手摺は木製とし、欄干は釧路市の花キンレンカをデザインしている。

データボード①

- ① 北海道釧路市
- ② 釧路市役所 ☎ 0154-23-5151
- ③ 延長105m、幅員5.5m
- ④ 御影石張り（中央部2m幅ロードヒーティング）舗石道
- ⑤ 釧路市制60周年記念事業